

## 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
現金及び預貯金	31,731	24,368
コールローン	30,000	30,000
有価証券	170,983	179,875
有形固定資産	1,054	842
無形固定資産	22,791	21,482
その他資産	20,123	19,942
繰延税金資産	16,414	16,010
資産の部合計	293,100	292,522
負債の部		
保険契約準備金	230,417	239,233
支払備金	46,995	50,422
責任準備金	183,421	188,810
その他負債	16,519	10,888
退職給付引当金	2,481	2,572
賞与引当金	1,124	593
役員賞与引当金	8	9
特別法上の準備金	361	388
価格変動準備金	361	388
負債の部合計	250,914	253,686
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	3,389	3,389
利益剰余金	18,756	15,480
株主資本合計	42,146	38,870
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	39	△ 34
評価・換算差額等合計	39	△ 34
純資産の部合計	42,186	38,836
負債及び純資産の部合計	293,100	292,522

## 四半期損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
経常収益	109,026	112,397
保険引受収益	108,040	111,332
(うち正味収入保険料)	107,973	111,252
(うち積立保険料等運用益)	66	80
資産運用収益	951	1,032
(うち利息及び配当金収入)	1,018	1,100
(うち有価証券売却益)	—	12
(うち積立保険料等運用益振替)	△ 66	△ 80
その他経常収益	34	32
経常費用	102,254	106,999
保険引受費用	76,745	79,417
(うち正味支払保険金)	55,150	61,161
(うち損害調査費)	7,570	7,909
(うち諸手数料及び集金費)	1,593	1,530
(うち支払備金繰入額)	3,164	3,426
(うち責任準備金繰入額)	9,266	5,389
営業費及び一般管理費	25,504	27,574
その他経常費用	5	7
経常利益	6,772	5,397
特別利益	—	—
特別損失	31	45
固定資産処分損	7	18
特別法上の準備金繰入額	24	27
価格変動準備金繰入額	24	27
税引前四半期純利益	6,740	5,352
法人税及び住民税	2,299	1,090
法人税等調整額	△ 389	433
法人税等合計	1,909	1,523
四半期純利益	4,831	3,828

## 損益状況の対前期比較

(単位：百万円)

期 別		前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	比較増減	増減率
科 目					
元受正味保険料(含む収入積立保険料)		110,079	114,015	3,936	3.6 %
(元受正味保険料)		( 110,079 )	( 114,015 )	( 3,936 )	( 3.6 )
経	保険引受収益	108,040	111,332	3,292	3.0
	(うち正味収入保険料)	( 107,973 )	( 111,252 )	( 3,279 )	( 3.0 )
常	保険引受費用	76,745	79,417	2,672	3.5
	(うち正味支払保険金)	( 55,150 )	( 61,161 )	( 6,011 )	( 10.9 )
	(うち損害調査費)	( 7,570 )	( 7,909 )	( 339 )	( 4.5 )
	(うち諸手数料及び集金費)	( 1,593 )	( 1,530 )	( △ 63 )	( △ 4.0 )
	資産運用収益	951	1,032	80	8.5
損	(うち利息及び配当金収入)	( 1,018 )	( 1,100 )	( 81 )	( 8.0 )
	(うち有価証券売却益)	( - )	( 12 )	( 12 )	( - )
	資産運用費用	-	-	-	-
	営業費及び一般管理費	25,504	27,574	2,070	8.1
(保険引受に係る営業費及び一般管理費)		( 25,438 )	( 27,515 )	( 2,076 )	( 8.2 )
その他経常損益		29	24	△ 4	△ 16.5
益	経常利益	6,772	5,397	△ 1,374	△ 20.3
	(保険引受利益)	( 5,855 )	( 4,398 )	( △ 1,456 )	( △ 24.9 )
特別損益	特別利益	-	-	-	-
	特別損失	31	45	13	43.8
	特別損益	△ 31	△ 45	△ 13	-
税引前四半期純利益		6,740	5,352	△ 1,388	△ 20.6
法人税及び住民税		2,299	1,090	△ 1,208	△ 52.6
法人税等調整額		△ 389	433	823	-
法人税等合計		1,909	1,523	△ 385	△ 20.2
四半期純利益		4,831	3,828	△ 1,002	△ 20.8
諸比率	正味損害率	58.1%	62.1%	/	/
	正味事業費率	25.0%	26.1%	/	/
修正経常利益		8,998	4,620	△ 4,378	△ 48.7
E.I.損害率		64.9%	68.6%	/	/

- (注) 1. 保険引受利益 = 保険引受収益 - (保険引受費用 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) ± その他収支  
 なお、その他収支は自動車損害賠償責任保険等に係る法人税相当額などでありませう。
2. 正味損害率 = (正味支払保険金 + 損害調査費) ÷ 正味収入保険料 × 100
3. 正味事業費率 = (諸手数料及び集金費 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) ÷ 正味収入保険料 × 100
4. 修正経常利益 = 経常利益 + 異常危険準備金繰入額※  
 ※異常危険準備金戻入の場合は、「異常危険準備金繰入額」はマイナスとなります。
5. E.I.損害率 = (正味支払保険金 + 支払備金繰入額 + 損害調査費) ÷ 既経過保険料 × 100  
 なお、地震保険および自動車損害賠償責任保険を除いております。

## 種目別保険料・保険金

### 元受正味保険料

(単位：百万円)

種 目	期 別	前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)			当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)		
		金 額	構成比	増減率	金 額	構成比	増減率
			%	%		%	%
火 災		6,690	6.1	16.5	5,827	5.1	△ 12.9
海 上		—	—	—	—	—	—
傷 害		7,093	6.4	3.0	7,359	6.5	3.8
自 動 車		96,296	87.5	3.6	100,828	88.4	4.7
自動車損害賠償責任		—	—	—	—	—	—
合 計		110,079	100.0	4.3	114,015	100.0	3.6

### 正味収入保険料

(単位：百万円)

種 目	期 別	前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)			当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)		
		金 額	構成比	増減率	金 額	構成比	増減率
			%	%		%	%
火 災		3,758	3.5	12.7	2,589	2.3	△ 31.1
海 上		0	0.0	—	—	—	△ 100.0
傷 害		7,205	6.7	1.4	7,242	6.5	0.5
自 動 車		96,007	88.9	3.6	100,449	90.3	4.6
自動車損害賠償責任		1,001	0.9	△ 4.9	970	0.9	△ 3.1
合 計		107,973	100.0	3.6	111,252	100.0	3.0

### 正味支払保険金

(単位：百万円)

種 目	期 別	前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)			当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)		
		金 額	増減率	正 味 損害率	金 額	増減率	正 味 損害率
			%	%		%	%
火 災		981	138.1	31.9	1,211	23.4	55.5
海 上		△ 3	—	—	△ 0	—	—
傷 害		3,564	44.6	54.1	2,732	△ 23.3	42.3
自 動 車		49,615	20.1	59.0	56,135	13.1	63.2
自動車損害賠償責任		992	△ 0.3	99.1	1,081	9.0	111.4
合 計		55,150	22.0	58.1	61,161	10.9	62.1

## 単体ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
(A) 単体ソルベンシー・マージン総額	78,568	83,042
資本金又は基金等	35,042	38,870
価格変動準備金	361	388
危険準備金	156	161
異常危険準備金	41,052	40,274
一般貸倒引当金	—	—
その他有価証券評価差額金・繰延ヘッジ損益(税効果控除前)	49	△ 47
土地の含み損益	—	—
払戻積立金超過額	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
払戻積立金超過額及び負債性資本調達手段等のうち、 マージンに算入されない額	—	—
控除項目	—	—
その他	1,905	3,394
(B) 単体リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_2)^2+(R_3+R_4)^2}+R_5+R_6$	19,895	20,872
一般保険リスク (R <sub>1</sub> )	16,572	17,029
第三分野保険の保険リスク (R <sub>2</sub> )	0	0
予定利率リスク (R <sub>3</sub> )	159	165
資産運用リスク (R <sub>4</sub> )	2,339	2,369
経営管理リスク (R <sub>5</sub> )	435	455
巨大災害リスク (R <sub>6</sub> )	2,700	3,200
(C) 単体ソルベンシー・マージン比率 [(A)/{(B)×1/2}]×100	789.8 %	795.7 %

注. 「単体ソルベンシー・マージン比率」とは、保険業法施行規則第86条（単体ソルベンシー・マージン）および第87条（単体リスク）ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出された比率です。

なお、当第3四半期会計期間(2023年12月31日)の単体ソルベンシー・マージン比率は、巨大災害リスクの基礎数値の一部を前事業年度(2023年3月31日)と同値とみなすなど、計算の一部を簡便化して算出しております。

### <単体ソルベンシー・マージン比率>

- ・損害保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や積立保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てておりますが、巨大災害の発生や、損害保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。
- ・こうした「通常の予測を超える危険」を示す「単体リスクの合計額」（上表の(B)）に対する「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」（すなわち単体ソルベンシー・マージン総額：上表の(A)）の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたものが、「単体ソルベンシー・マージン比率」（上表の(C)）であります。
- ・「通常の予測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。
  - ①保険引受上の危険（一般保険リスク）：保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険（巨大災害に係る危険を除く）
  - (第三分野保険の保険リスク)
  - ②予定利率上の危険（予定利率リスク）：実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険
  - ③資産運用上の危険（資産運用リスク）：保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動することにより発生し得る危険等
  - ④経営管理上の危険（経営管理リスク）：業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で上記①～③及び⑤以外のもの
  - ⑤巨大災害に係る危険（巨大災害リスク）：通常の予測を超える巨大災害（関東大震災や伊勢湾台風相当）により発生し得る危険
- ・「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」（単体ソルベンシー・マージン総額）とは、損害保険会社の純資産（社外流出予定額等を除く）、諸準備金（価格変動準備金・異常危険準備金等）、土地の含み益の一部等の総額であります。
- ・単体ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。